

令和3年度 第2回琉球大学動物実験委員会議事要旨

日 時：令和3年7月20日(火)

開催方法：オンライン会議 ZOOM

参加者：波名城委員（人文社会学部）、松本委員（国際地域創造学部）、
富永委員（教育学部）、中村委員（理学部）、原嶋委員（医学部）、
國田委員（工学部）、稲福委員（農学部）、梅村委員（熱帯生物圏研究センター）、
市瀬委員（医学部）、佐野委員（農学部）、金野委員（農学部）、波平委員（農学部）、
満尾委員（総合企画戦略部）、斎藤委員（施設運営部）

1. 議 事

- (1) 2020年度の動物実験等実施に関する報告書の回収状況について
市瀬委員より、報告書回収状況について説明があり、未回収2件の提出後に自己点検評価を実施することとなった。
- (2) 動物実験に関する機関内規程ひな形 第四版（案）（国動協）の概要について
市瀬委員より、国立大学法人動物実験施設協議会の機関内規程ひな形と学内規則の比較による概要について説明があった。
- (3) 飼養保管施設の「管理者」「実験動物管理者」の定義や役割についての確認と整理
市瀬委員より、学長・管理者・実験動物管理者の定義や役割に関して、国動協の機関内ひな形と学内規則での相違点等について説明があった。
- (4) 国動協の機関内規程ひな形の改正案をふまえた、学内規則の見直しと、今後の規則改正のスケジュールについて
変更可能箇所については原案を作成し、今年度の自己点検評価後に規則改正を進めることとなった。
- (5) 千原キャンパスのマウス・ラットのための飼養保管施設・動物実験室の利用方法について
市瀬委員より、複数の飼養保管施設・動物実験室に同一人物が出入りすることによる、環境微生物による汚染や実験用動物間で拡がる感染症の発生に対して防止対策が必要であることについて説明があり、対策について確認された。

2. その他

- (1) 令和3年度第1回委員会議事要旨について確認され、承認された。
- (2) 書類メール審査の指摘事項について、市瀬委員より説明があった。
- (3) 市瀬委員より、冷房故障による飼育動物（マウス・ラット）への影響について注意喚起があった。

3. 次回開催について

次回の開催は、令和3年9月21日（火）となった。開催方法について、対面とオンラインのハイブリッド会議を検討中であることが伝えられた。